

流行ニュース：

<ラッサ熱¹、イギリスにおける輸入感染症例>

英国人男性（50歳）のラッサ熱感染例が確認された。診断はロンドンの中央公衆衛生研究所内、腸管・呼吸器系ウィルス研究所で行われた。この男性はかつてシエラ・レオーネの農村地域で働いていた。患者の状態は徐々に回復しているものの依然重症であると報告されている。周囲との接触監視は、ラッサ熱の潜伏期間中に行われる見通しである。

参照¹：2000年 No.3 p.11-18

出版紹介：

Buruli 潰瘍

Mycobacterium ulcerans 感染

WHOは Buruli 潰瘍に関する書籍¹を出版した。Buruli 潰瘍の疫学、原因物質、感染経路、病理学、診断、治療に関する初めて包括的な報告である。Buruli 潰瘍は、激しい苦痛と変形による身体障害を引き起こすマイコバクテリア疾患であり、近年熱帯諸国で増加してきている。

¹ Buruli Ulcer

Mycobacterium ulcerans infection

英語版（フランス語版は準備中）

22.50米ドル / 25スイスフラン 注文番号：1930174

今週の話題：

表1（p.86-88）：感染地域一覧

ペスト、コレラ、黄熱などの感染状況が、疾患別・国および地域別に一覧できる。（2000年3月16日現在）* このリスト作成のために使用した規準については、1999年度 No.42を参照のこと

WER参照のこと。

表2（p.89-92）：急性弛緩性麻痺（AFP）の監視体制とポリオ発生率（2000年3月2日現在）

1999年と2000年のAFP監視体制とポリオの発生率に関するデータが、表の左から、AFP監視体制における報告率・AFP報告症例数・ポリオ以外の年間AFP罹患率・適切な標本を得たAFP症例数・2000年確定ポリオ症例数（野生型ポリオウィルス）・1999年確定ポリオ症例数（野生型ポリオウィルス）が、項目別、国別に報告されている。

WER参照のこと。

流行ニュースの続報：

インフルエンザ（2000年3月4日）

ギリシャ¹：インフルエンザウィルス A（H3N2）が分離されたが、減少している。

エジプト²：1月の第3週目からインフルエンザ A（H3N2）ウィルスの散発的な流行。インフルエンザ B も報告されている。

アイスランド³：1月最終週には散発的になったが、ここ2週間の内に再度広範囲にわたり蔓延した。A ウィルスが引き続き分離された。

スロヴァキア⁴：南部で2-3の局地的な報告があるが、衰退している。

タイ：発見症例数は1月に増加している。A型は分離したが、そのうちサブタイプ A（H3N2）よりサブタイプ A（H1N1）が多い。

参照¹No.3 2000 p.28²No.48 1999 p.415³No.9 2000 p.75⁴No.6 2000 p.52

（WERスタッフ、宇佐美眞）